

C-2:研究力の強化と評価

開催日時・会場 9月15日(水曜日) 10:40-12:10 WEB-ONLY

URAの協働による大学間連携と研究力強化

激甚災害、新型コロナウイルスなど、先が予測できない社会において、研究に関する様々な課題に対応するためには、各機関のURAの協働が重要なポイントとなる。

本セッションでは、URAの複数機関との連携を中心に、研究大学コンソーシアム（RUC）での取組や、各機関での他機関との連携におけるURAの協働を中心に議論を行いたい。

具体的には、RUCからは、2021年度から開始したMIRAIプロジェクトの取組について、東京工業大学からは、4大学連携について、北海道大学からは、COFReについて、熊本大学からは学内ファンドからの大学間連携への取組について紹介し、課題とその解決策を共有し、議論を行う。

オーガナイザー

本田 一貴:熊本大学・研究・産学連携部 研究推進課・主任URA

NO
PHOTO
AVAILABLE

2011年に熊本大学で博士（医学）を取得し、私立大学のポスドクを経て2012年より熊本大学の研究コーディネーター（URA）として従事。主な業務は研究推進系URAの総務担当として、研究担当理事の補佐、機関申請の競争的資金の獲得、研究推進施策の立案・実施を担当。昨年度より、研究担当理事と新型コロナウイルス感染症の社会課題を解決する学内ファンド「アマビエ研究推進事業」を設置し、研究を推進している。

講演者

小泉 周:自然科学研究機構・研究力強化推進本部・ 特任教授(統括URA)



1997年慶應義塾大学医学部卒業。医学部生理学教室助手。2002年米ハーバード大学医学部・マサチューセッツ総合病院・ハワード・ヒューズ医学研究所。2007年に帰国し、自然科学研究機構生理学研究所の広報展開推進室准教授。2014年より、大学共同利用機関におけるURAとして、自然科学研究機構本部の研究力強化推進本部・特任教授(統括URA)となる。

井上 素子:東京工業大学・研究・産学連携本部研究 戦略部・URA

NO
PHOTO
AVAILABLE

東京国立博物館学芸研究部を経て東京工業大学URA。筑波大学大学院博士課程修了、博士(芸術学)。前職では東日本大震災で被災した文化財の保管環境の研究、保全ネットワーク形成支援等に從事。東工大では異分野融合研究の推進やプレアワード支援を主に担当している。現在は、異分野融合研究の範囲を学内から学外へ拡大し、機関を超えた融合研究支援として「MIRAIプロジェクト」や大学間連携を推進することに力を入れている。

山田 邦雅:北海道大学・人材育成本部・准教授



2003年に北大で博士号(理学)を取得。2008年から2020年まで北大高等教育推進機構の特任准教授・准教授として従事し、主に教員研修や教学IRを担当してきた。2021年度より、同大人材育成本部へ異動し、テニュアトラック支援、若手教員育成を担当している。現在も高等教育推進機構、総合IR室を兼任し、アクティブラーニング、IRデータによる教育成果の研究を行っている。